

目の前の目標 ;	素直な心のあり方・円滑な日常生活の体得	⇒	具体的で確実な日常における生活技術の獲得
大きな目標 ;	生きて行くことの意義を考え意識を持ち行動する。	⇒	文化レベルを加味した生活・年齢に呼応した生活態度
	他を思いやる心と行動	⇒	協調性 → 社会性 → 円滑な地域生活の根底

リードする職員は、指導・援助について;共に「具体的に行動を示す、確認する」の反復した姿勢を持ちつづける。声をかけるだけの自己満足であってはならない。

返事を聞きOKを出すのではなく実際の状況を確認する。様々な場面を通じて言動だけでなく心理状態を考察する。カウンセリングでは甘えを含め徹底的に話しを聞く。

利用者に対しては常にレポートを基軸に本質を明かにし客観的な態度で接するように。主観にながされない。喜怒哀楽を表現してはいけないということではない。

利用者が自らやろうとする意識をもてるよう心身のサポートをする。良いことを見出し自身をつけさせたり、明日への希望を増大させるように!

具体的な就労を目指しての訓練及び実習活動

○ ころこ	素直な・相手を思いやる・自分自身を省みる・感謝する	相手やまわりの人に不快感を与えない。相手に嫌な事をしない。悪口・陰口を言わない。	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>1 効果はあがっているのか</p> <p>2 間違えていないか</p> <p>3 安全であるのか</p> <p>4 話しは理解出来ているのか</p> <p>5 誰かに聞いたのか相談・報告したのか</p> <p>その他</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>1 見直し</p> <p>2 確認</p> <p>3 修正</p> <p>4 責任</p> <p>その他</p> </div>
○ 身だしなみ	清潔・機能的・センス・格好良さ それに5感の程よい緊張		
○ コミュニケーション	あいさつ・報告・連絡・話し合い・会議・相談	※非常及び緊急事態対応 ; 他者に伝える!	
○ 朝の会・昼の会・夕の会	受けいれ情報(各居住場所から)、各グループへの伝達確認・各グループからの報告、申し送り情報(各居住場所へ)		
○ 問題解決	その場その場での話し合い、全体で協議する場合の場合は直近の時間のとれる時間帯で実施。問題を翌日に残さない。		
○ 掃除	部屋・トイレ・風呂・壁・床・玄関…… ゴミ分別	雑巾・バケツ・ほうき・ちりとり・ごみ箱・掃除機の使用法&整理整頓	
○ 洗濯	尿付衣類・上着・下着・タオル・ハンカチ・靴……	全自動洗濯機・2槽式洗濯機・手洗の使用法&整理整頓	
○ 調理	配膳・食器洗い・盛りつけが中心、清潔の励行(消毒・手洗及び服装チェック)	※調理における火の取扱;うっかりで周りを死にいたらしめる。	
○ 清潔	整容・歯磨き・手洗・足浴・入浴・爪(白癬菌退治)	排泄処理;尿・便拭き取りトレットペーパーの使用法	
○ 介護補助	相手の常態の把握と担当職員の指示・言葉の理解を確実にする。	常に挨拶と行動を促がす場合には優しいわかりやすい声かけを行う。	
○ 社会体験	買物・映画鑑賞・音楽鑑賞・食事……	※お金(収入)の大切さ、仕事のありがたさを根底におきながらの活動 ⇒ 「生活」の意味	
○ 歩行速度	分速100m		

※ 活動 実施にあたり全体を小グループに分け、活動の責任性を明確にする。特にその日のリーダーグループは全体を見渡す緊張のある行動を!

上記具体的活動をカードに作成、絵・図・写真などを利用し手順や効果をわかりやすく。